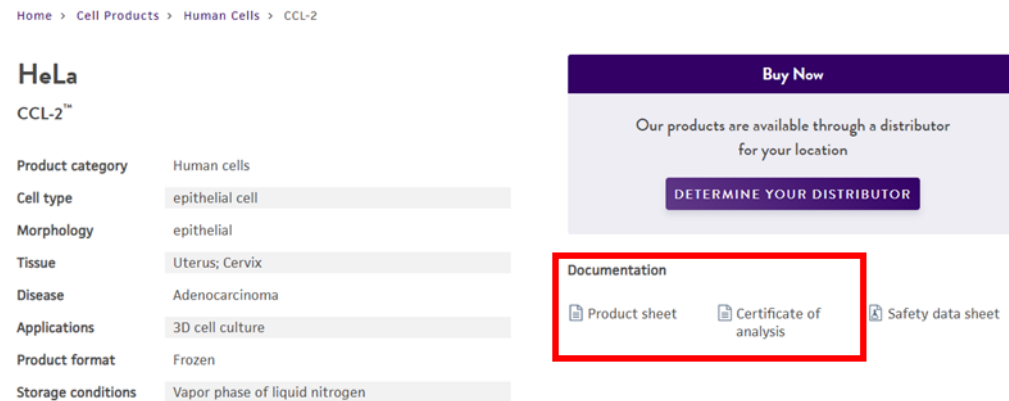


【ATCC細胞株のCertificate of Analysis(CoA)及びProduct Sheetのダウンロードについて】

*これらの書類は各細胞株のWeb Catalogよりダウンロードしていただきますようお願い申し上げます。

Web Catalog : DOCUMENTATION Product Sheet と CoA のアイコンをクリックしてください。



<Product Sheet>

Product Sheet のアイコンをクリックするとダウンロードいただけます。

<CoA>

CoA のアイコンをクリックするとロット番号を入力する画面が表示されます。ロット番号入力し [Retrieve COA] のボタンをクリックすると、ダウンロードできます。

*凍結バイアルに Lot 番号の記載がございますので、培養前に確認頂き、必ず番号を控えておいてください。CoA ダウンロード時に必要となります。

【ATCC細胞株の培養について】

ATCC細胞株の培養に関する一般的なポイントを下記に示します。必ず培養前にご確認ください。

- ① 凍結の細胞株をお受け取り頂きましたらすぐに培養を開始ください。但し、すぐに開始できない場合には、必ず液体窒素タンクなどの-130℃以下の環境下で保管をお願いします。
液体窒素タンク保存に際しては気相中での保存推奨します。(アンプル破裂による事故防止のため)。ディープフリーザーなどの-130℃以上になる環境下での保管はしないようお願いします。
- ② **播種密度及び予想される生存率 (Lot 情報) について**
これら情報は、Certificate of Analysis (CoA) に記載されております。CoA を Web Catalog からダウンロードし、ご確認ください。
*必ず培養開始前に CoA 及び Product Sheet をダウンロードし、播種密度、培地組成などをご確認ください。
*2013年11月以前に作製された分譲 Lot については、CoA に Lot Information の記載がされていない場合がございます。記載されていない場合は弊社までお問い合わせください。

<各資料の見方>

CoA(Certificate of Analysis) 記載例

下記は、新 Lot の COA に記載されている播種密度(一例)です(*)。

Recovery:の欄に“seeding density”と播種密度が記載されている場合もございます。

【接着細胞】

Recovery:

A T-25 setup at a dilution of 1:10 reaches approximately 50% confluence in 1 day.

A T-75 setup at a dilution of 1:15 reaches approximately 50% to 60% confluence in 2 days.

⇒播種密度は「1 アンプルを 10mL の ATCC 完全培地が入った 25cm² フラスコ 1 本に播種する」
もしくは、「1 アンプルを 15mL の ATCC 完全培地が入った 75cm² フラスコ 1 本に播種する」
という指示でございます。参考起眠率として、「ATCC 培養条件下では、T-25 フラスコだと 1
日で 50%、T-75 フラスコだと 2 日で 50-60%コンフルエントに達する」という解釈になり
ます。

【浮遊細胞】

Recovery:

A T-25 set up at a seeding density of 3.0×10^5 viable cells/mL is ready to subculture in 3days.

A T-75 set up at a seeding density of 3.0×10^5 viable cells/mL is ready to subculture in 3days.

起眠時の播種密度は、Recovery:の欄に“seeding density”として記載されております(*)。

⇒「播種密度： 3×10^5 個/mL で、25cm² フラスコ (培地量：10mL) 1 本、もしくは 75cm² フラスコ (培
地量：15mL) 1 本に播種する。ATCC 培養条件下では、いずれも 3 日で継代できる。」と解釈されます。

Lot Information Sheet 記載例

下記は、2013 年以前の Lot Information Sheet に記載されている播種密度(一例)です(*)。

Lot# 123456 : Dilute Ampoule Content, 1:10 (T-25) or 1:15 (T-75)

⇒「Lot# 123456 は、1 アンプルを ATCC 指定の完全培地 10ml で希釈し、25cm² の培養面積
をもつフラスコ 1 本に播種して培養を開始してください。もしくは、1 アンプルを ATCC 指定
の完全培地 15ml で希釈し、75cm² の培養面積をもつフラスコ 1 本に播種して培養を開始し
てください」という解釈になります。

- ③ 培地・培養方法につきまして、Product Sheet/Web Catalog に従い、組成成分や各種濃度は必ず ATCC の指示に従ってご利用ください。 ATCC では Product Sheet (CoA や lot information sheet 等含)に記載される培地・方法以外では、その細胞株の生育を確認しておりません。細胞用培地ご使用の際には十分に培地の組成、その他の調整をご確認下さいますようお願い申し上げます。
- ④ ATCC では FBS を含む動物血清につきましては熱非働化していないもの (not heat-inactivated) を推奨しています。但し、Product Sheet に特定の指示がある場合にはそれに従ってください。
- ⑤ ATCC は通常抗生剤を使用しておりません。もし使用される場合には細胞に害を及ぼさない程度の濃度 (ペニシリン:50-100 units/mL, ストレプトマイシン:50-100 μ g/mL) にてご使用ください。抗生剤の使用は培養中に発生し得る低レベルのコンタミネーションを見落とす可能性がありますこと十分ご注意ください。なお、ATCC は抗真菌剤の使用を推奨していません。
- ⑥ ATCC では生育の確認が見られないなどの異常が見られる場合でも、培養開始後少なくとも 72 時間は観察を継続して頂くことをお願いしています。凍結細胞を起眠する場合、最初の成育が遅い株もございます。そのような場合には培養開始後 48 時間経過時点でトリパンブルーやエリトロシン B 染色による viability test を実施下さるようお願い申し上げます。なお、ATCC 株の保証期間はお受取後 20 日以内となっております。
- ⑦ ATCC は細菌、酵母、真菌、マイコプラズマのテストを全細胞株で実施しています。そのテストは 3-4 週間にわたって行われ、全ての項目で陰性であることを確認するまで ATCC では当該ロットの分譲を許可していません。
- ⑧ 継代後に生じたトラブルにつきましては保証の対象外となりますことをご了承下さい。
- ⑨ Flask culture を受領された場合の操作方法については、それぞれの細胞株ごとに提供される Product Information Sheet の” Handling Flask Culture” の項目をご覧ください。Flask culture は、輸送期間中に培地栄養分が一部消耗されています。お受け取り時に必ず細胞が接着しているかどうかご確認いただき、培地交換等の適切な処置を施してください。

以上